

## 町のあゆみ

西 暦	年 号	事 項
17世紀半	明 暦 の 頃	松前藩羽幌で砂金採取
1690年	元禄3年	松前藩の藩士及び鉱夫数10名、羽幌で砂金採取
1692年	" 5年	羽幌のアイヌ虚説を口実に鉱夫60余名福山に逃げ戻る
1695年	" 8年	金堀奉行及び鉱夫20名を羽幌に派遣
1696年	" 9年	朝鮮漂人8名羽幌に参着
1700年	" 13年	「元禄御国絵図」にとままい、はほろ、てふれ島の記載あり
1778年	安永7年	焼尻に同年8月15日付の墓碑あり
1786年	天明6年	六代栖原角兵衛、天売、焼尻の漁場請負を命ぜられる
1787年	" 7年	六代栖原角兵衛、苫前場所の請負を命ぜられる
1792年	寛政4年	天売沖で鯨取りのアイヌ23人、松前の漁夫1人遭難
19世紀初	文 化 年 間	沿岸の調査、測量が行われる
19世紀半	弘 化 ・ 安 政	松浦武二郎沿岸の調査を行う
1848年	嘉永元年	米人ラノルド・マクドナルド焼尻に漂着
1855年	安政2年	えぞ地再び幕府領となり、苫前領は秋田藩の整備地となる
1859年	" 6年	苫前領、天売、焼尻(天塩領)庄内藩の支配地となる
1869年	明治2年	開拓使を設置し、えぞを北海道と命名 苫前領、天塩国苫前郡となる
1871年	" 4年	水戸藩支配終わる 十代栖原角兵衛が天塩国一円の漁場持ちとなる 栖原の支配人、羽幌で鱒漁試みる
1876年	" 9年	北海道大小区画定められ、苫前郡を苫前村、白志泊村、力昼村、焼尻村、天売村に区画 栖原漁場持を命ぜられる
1879年	" 12年	郡区町村制が定められ、留萌に郡役所設置、焼尻村、天売村戸長役場を焼尻に設置
1880年	" 13年	苫前村、白志泊村、力昼村戸長役場を苫前に設置
1881年	" 14年	郡役所増毛に移る
1882年	" 15年	開拓使廃止され、苫前郡は札幌県に属す
1885年	" 18年	工藤浅吉、渡守として羽幌川岸に移住
1886年	" 19年	立崎熊次郎、渋谷善兵衛等鯨漁業に従事、三県廃止、北海道庁設置
1887年	" 20年	斎藤知一捕鯨業を始める 築別川岸に青木宗吾移住
1888年	" 21年	苫前炭田の調査実施
1890年	" 23年	鯨大漁、捕鯨業活況を呈す
1892年	" 25年	最初の説教所(曹洞宗)開設 苫前尋常小学校羽幌分校設立(28年独立)
1894年	" 27年	羽幌村成立(明治27年2月3日道庁告示第11号) 羽幌市街区画実施(明治27年4月19日道庁告示第34号) 苫前漁業組合羽幌支所設置
1895年	" 28年	羽幌橋架設される 巡查駐在所設置
1896年	" 29年	羽幌、築別両原野解放され福井、富山県等から約400戸団体移住者入植 羽幌郵便局設置 羽幌消防組合設置 羽幌神社建立
1897年	" 30年	羽幌村戸長役場独立(明治30年7月15日道庁告示第139号開庁) 郡役所制廃止、市庁制制定、増毛支庁設置、森林看守駐在所設置
1899年	" 32年	増毛区裁判所羽幌出張所設置 羽幌村農会設立
1900年	" 33年	道庁命令、航海定期船寄港開始 初山別村設立

西 曆	年 号	事 項
1901年	明治34年	初山別村戸長役場独立
1902年	" 35年	二級町村制施行 天売村戸長役場設置 天売沖で鯨漁船60余隻難破、228名溺死
1904年	" 37年	羽幌村水産組合設置 天塩貯蓄銀行羽幌支店設置
1905年	" 38年	鯨大漁
1906年	" 39年	焼尻村、天売村に二級町村制施行
1908年	" 41年	帝室林野局羽幌出張所設置 天売沖で鱈つり船34隻難破、229名溺死
1909年	" 42年	一級町村制施行
1910年	" 43年	羽幌土功組合設立
1911年	" 44年	鯨大漁、山火事
1912年	大正元年	羽幌土功組合かんがい溝完成 人口1万人を越す(1,761戸10,695人)
1913年	" 2年	大凶作
1914年	" 3年	増毛支庁を留萌支庁に改める
1915年	" 4年	羽幌第2土功組合設立
1916年	" 5年	澱粉製造業活況呈す
1917年	" 6年	羽幌第2土功組合かんがい溝完成 耕地面積(3,977町歩)最高に達す 鯨凶漁
1918年	" 7年	羽幌電気株式会社創立
1919年	" 8年	築別土功組合設立 糸屋銀行羽幌支店設置
1920年	" 9年	帝国製麻株式会社羽幌製綿工場設立 朝日信用購買販売組合設立
1921年	" 10年	札幌測候所羽幌支所として観測を開始(大正8年告示、9年設置) 築別土功組合かんがい溝完成 町制施行
1922年	" 11年	羽幌第3土功組合設立
1923年	" 12年	9月大洪水、川北、川南1丁目浸水
1924年	" 13年	電話交換業務開始
1925年	" 14年	公設グラウンド設置 豊作、豊漁海陸2万石祝賀会開催
1926年	昭和元年	北大通大火、17戸焼失。羽幌橋鉄筋コンクリートに架替 北海道拓殖銀行羽幌派出所設置
1928年	" 3年	羽幌商工会設立
1929年	" 4年	南高台に競馬場設置
1931年	" 6年	凶作(9年まで続く)
1932年	" 7年	国鉄羽幌線開通(古丹別~羽幌間)船入潤修築工事始まる
1934年	" 9年	鯨大豊漁
1935年	" 10年	苫前両島定期船株式会社設立
1937年	" 12年	羽幌自動車合資会社設立
1938年	" 13年	鯨未曾有の凶漁
1939年	" 14年	太陽産業株式会社築別炭砒の開発に着手
1940年	" 15年	築別炭砒の採炭始まる
1941年	" 16年	羽幌炭砒鉄道株式会社設立 国鉄羽幌線、築別間及び羽幌炭砒鉄道開通 大正製麻会社羽幌亜麻工場設立
1942年	" 17年	森林鉄道敷設工事竣工
1943年	" 18年	羽幌川改修工事竣工
1945年	" 20年	町立羽幌病院設置
1947年	" 22年	羽幌二坑(上羽幌)の開発始まる 羽幌中学校創立

西 曆	年 号	事 項
1948年	昭和23年	羽幌本坑（羽幌砒）の開発始まる
1950年	" 25年	留萌高校羽幌分校創立。公民館設置 町立羽幌高校設立（26年に道立移管）
1952年	" 27年	「天羽丸」羽幌に寄港開始 築別炭砒で大争議おこる
1953年	" 28年	羽幌電報電話局開局
1954年	" 29年	南大通 1 丁目大火20棟32世帯全焼
1955年	" 30年	人口 2 万人を越す
1956年	" 31年	15号台風の被害 2 億4,000万円に達す
1958年	" 33年	天売村を編入合併
1959年	" 34年	石炭、年産50万トン突破
1960年	" 35年	国鉄羽幌線、築別～遠別間開通
1962年	" 37年	焼尻村を編入合併
1964年	" 39年	築別橋竣工
1965年	" 40年	名羽線起工式を挙る。石炭、年産100万トン突破 人口 3 万人を越す。天売、焼尻道立自然公園となる 羽幌橋竣工
1966年	" 41年	児童会館完成
1968年	" 43年	N H K テレビ放送中継局開局 羽幌ダム完成
1969年	" 44年	開基70周年記念式典。 スポーツ公園陸上競技場及び野球場完成 羽幌町外 2 町村衛生施設組合設立（4月16日）
1970年	" 45年	天羽丸就航（羽幌港基地となる） 役場庁舎竣工（12月10日） 羽幌炭砒鉄道廃止（築別炭砒～築別間）（12月14日） 羽幌炭砒閉山（12月19日）
1972年	" 47年	羽幌北大通簡易郵便局の開局 羽幌町葬斎場竣工（6月14日）
1973年	" 48年	北留萌消防組合設立（苫前、羽幌、初山別、遠別、天塩、幌延加入） 築別へき地保育所設立
1974年	" 49年	株式会社エス・ピー・エフ畜産センター設立 特別養護老人ホ - ム「しあわせ荘」設立
1975年	" 50年	統合中学校羽幌中学校校舎落成 羽幌川切替事業着手
1976年	" 51年	北海道立羽幌病院新築落成（11月1日） 勤労青少年ホーム落成 羽幌町霊園分譲開始 老人福祉センター落成 留萌中部森林組合設立（羽幌、苫前合併による） 羽幌港西防波堤灯台完成
1977年	" 52年	武道館落成 羽幌小学校グラウンド新設 焼尻郷土館（小納邸、明治33年建築）羽幌町有形文化財指定（12月19日）
1978年	" 53年	漁村環境改善センター落成 焼尻中学校落成（6月） 町民憲章制定 羽幌町開基80周年記念式典（7月6日） 北留萌消防組合庁舎落成（10月1日）
1979年	" 54年	羽幌町外 2 町村衛生施設組合ごみ処理施設竣工（2月8日） 町立焼尻高校閉校（3月31日） 東海大学海洋研究所羽幌町分室開設（8月22日） 二股ダム落成（8月28日） 富山県東砺波郡平村と友好町村提携（9月11日） 焼尻郷土館（小納邸）北海道有形文化財指定（11月27日） 民間テレビ放送（U H B、H T B）中継局開局（12月6日） 羽幌自動車学校（公安委員会指定）開校（12月20日）

西 曆	年 号	事 項
1980年	昭和55年	羽幌町外2町村衛生施設組合し尿処理施設竣工(2月20日) つつじヶ丘団地造成工事竣工(11月1日) 羽幌港北側防波堤着工(6月) 石川県河北郡内灘町と姉妹都市提携(10月1日) 羽幌大橋完成(10月24日) 羽幌町商工会館竣工(10月25日) 老人コミュニティセンター竣工(12月8日) 国鉄羽幌線存続期成会発足(12月17日)
1981年	" 56年	羽幌共同福祉センター竣工(2月20日) 北海道羽幌高等学校新校舎竣工(3月13日)
1982年	" 57年	緑の村開村(6月6日) 羽幌町郷土資料館開館(5月1日)
1983年	" 58年	雇用促進住宅落成(3月27日) 国鉄羽幌線存続連合期成会発足(2月14日)
1984年	" 59年	焼尻支所庁舎竣工(9月30日) 焼尻総合グラウンド竣工 南町運動広場竣工 平和のまち宣言(12月3日)
1985年	" 60年	羽幌高等学校定時制課程閉課(2月24日) 留萌支庁管内中央空港建設促進期成会発足(3月29日)
1986年	" 61年	羽幌川新水路通水(2月13日) 国鉄羽幌線バス転換に決定(8月6日) 中央公民館完成(9月16日)
1987年	" 62年	国鉄羽幌線廃止(3月29日) 国鉄羽幌線代替バス運行(3月30日) サンセットビーチハウス竣工(7月21日) 豊越橋竣工(9月21日) 羽幌バスターミナル落成(12月7日)
1988年	" 63年	新浄水場の竣工(1月20日) 新羽幌町総合振興計画策定(4月1日) サンセットウエディング(天売沖での洋上結婚式)行われる(6月18日) テニスコート完成(9月25日) 住民基本台帳の電算処理スタート(10月1日) 4条通りに相合橋完成(11月14日)
1989年	平成元年	羽幌町郷土資料館(旧裁判所)オープン(5月1日) フェリー「おろろん」就航(6月1日) 道立病院CTスキャナー設置(11月1日) 平元橋(6条橋)共用開始(12月20日)
1990年	" 2年	焼尻で野菜栽培開始(4月) 天売、焼尻に海底探勝船就航(6月1日) 天売、焼尻が国定公園(暑寒別天売焼尻国定公園)に昇格(8月1日) 天売支所庁舎竣工(8月8日) レストパークはぼる開園(8月14日) 道立病院で人工透析治療開始(12月18日)
1991年	" 3年	高速船「さんらいなゝ」就航(4月12日) 道立病院で耳鼻咽喉科診療開始(9月30日) 「温泉源可能性調査」電気探査開始(10月2日) 羽幌町花き生産推進協議会発足(11月15日) 焼尻西浦北防灯台完成(11月20日) ウニ種苗生産センター竣工(12月9日)
1992年	" 4年	地熱(温泉)開発ボーリング開発(6月12日) 川跡地から温泉噴出(7月20日) ウニ種苗生産センター採苗スタート(9月1日) 羽幌小学校新プールオープン(9月29日)

西 曆	年 号	事 項
1993年	平成5年	羽幌産ウニ種苗初出荷(5月14日) 第3セクター「羽幌観光開発株式会社」創立(6月10日)
1994年	" 6年	農協で「羽幌ファックス情報システム」導入(6月6日) サンセットプラザはぼろ(いきいき交流センター)オープン(12月4日)
1995年	" 7年	N T T 羽幌営業所が留萌営業所に統合(2月28日) 公共下水道工事着手(7月)
1996年	" 8年	羽幌町デイサービスセンターオープン(2月20日) 北海道栽培漁業羽幌センターオープン(4月15日) 羽幌・天売・焼尻漁業協同組合が合併(9月1日) 旭川地方務局羽幌出張所が留萌支局に統合(12月2日)
1997年	" 9年	すこやか健康センターオープン(3月24日) 留萌公共職業安定所羽幌分室が統廃合(3月31日) 北海道海鳥センターオープン(4月25日) ふるさと羽幌100年記念式典(7月20日) 羽幌消防団創立100周年記念式典(8月1日)
1998年	" 10年	「ほっと♡はぼろ」道の駅指定(4月17日) はぼろパラ園、道の駅オープン(6月30日) 民放ラジオ難聴解消(S T V・H B C)中継局開局(10月1日) 総合体育館落成(11月1日) T V H 羽幌放送局開局(11月26日) 羽幌町民スキー場オープン(12月13日)
1999年	" 11年	測候所統合により無人化(3月1日) 羽幌営林署統合。留萌北部森林管理署羽幌事務所設置(3月1日) 豪雨による被害発生
2000年	" 12年	特別養護老人ホーム「しあわせ荘」羽幌町社会福祉協議会に 運営委託(3月31日) 羽幌中央小学校閉校(3月31日) 留萌公共職業安定所羽幌職業相談室廃止(3月31日) 炭鉱閉山後第1号の誘致企業「北海道岡橋羽幌工場」閉鎖(6月20日) 焼尻消防団創立100周年記念式典(6月25日) 離島地区でごみの分別収集スタート(8月21日) ふれあい橋供用開始(10月24日) 離島地区高齢者支援センターオープン(12月1日)
2001年	" 13年	新羽幌町史発刊(3月) 羽幌光洋小学校閉校(3月31日) 市街地区ごみ分別収集スタート(4月1日) 町納税貯蓄組合設立50周年記念式典(6月24日) 新フェリー「おろろん2」就航(5月20日) 天売消防団創立100周年記念式典(6月24日) 留萌北部森林管理署羽幌事務所(旧営林署)が留萌北部森林管理署(天塩町) に統合(8月1日) いきいきデイサービスセンターオープン(11月1日)
2002年	" 14年	羽幌町総合振興計画「ほっとプラン21」策定(4月1日) 旧役場庁舎解体(6月) 新パークゴルフ場オープン(6月1日) 下水道終末処理場「羽幌浄化センター」完成(10月1日) ごみ処理施設「きらりサイクル工房」完成(11月1日) ごみ有料化スタート(11月1日) 矯正施設誘致期成会設立(11月13日)